

2015年度 教職課程活動報告

間山 広朗

本年度の教職課程は、望月耕太先生を専任スタッフにお迎えしスタートしました。望月先生は経営学部所属（湘南ひらつかキャンパス）ですが、横浜キャンパスでも教育方法論を担当されています。

初々しい1年生の姿が目立つ4月は駆け足で過ぎていきます。1年生の多くは、「教育原論」「教育心理学」「教育と社会」を履修し、2年次からは「教科教育法」や「教職論」、「教育課程論」「教育方法論」、そして「生徒指導論」「特別活動論」「道徳教育論」などを履修していきます。3年次には「教育相談」に関する科目や、「教育実習指導Ⅰ」（後期）などを履修し、4年次に備えます。

5月末頃からは、6月中旬を中心に多くの4年生が教育実習に向かいます。実習校で3週間のご指導を受け、7月に帰って来る学生の顔つきはどこか違います。夏の教員採用試験に向けた対策も熱を帯びてきます。

○教員採用試験対策

4年生は、前年夏頃から専門教養対策・教職教養対策・論文に関する講座、ならびに模擬試験を受けて対策を重ね、春を迎えました。この間横浜キャンパスでは、今年度より、進路として教職を選ぶにあたって学生が抱える迷いや受験直前の悩みなどに対して、常駐する「学習アドバイザー」（元中学校長）に相談できる体制を取りました。初年度にもかかわらず多くの相談件数があり、学生サポートをひとつ加える

ことができました。

7月には一次試験を迎え、一次合格者には8月初旬に二次試験対策を実施し、前学期が終わります。

○学校ボランティア交流会

前学期末には、7月17日（金）6限（18時～）に、日頃より学生をボランティアとして受け入れてくださっている近隣の小・中学校の校長先生を中心とした方々を横浜キャンパスにお招きして、学生および本学教員との交流会を実施しました。学生は、日頃お世話になっている学校の先生方を前に、日常の大学授業よりも幾分張り切って報告に臨み、先生方からはさまざまな助言をいただくとともに学生を励ましていただきました。

○教員免許状更新講習

夏休み期間には、8月10日（月）・11日（火）に、教員免許更新講習（必修）を横浜キャンパスで実施しました。本講習は少人数で議論する「ラウンドテーブル」形式をとっています。本年度は、「教職生活をふり返り、教育の最新事情を学ぶ」ことをテーマとし、まずは受講される先生方各自の教員生活のふり返りを少人数で聴き合いました。講義「学校内外の連携協力」「子どもの変化についての理解」「学校を巡る状況の変化」「教育政策の動向理解」についても、各グループに配置したファシリテーターのサポートのもと、受講者の熱心な議論が繰り広

げられました。

○教員採用試験結果

夏の二次試験を終え、秋には結果が発表されました。別表【表6】のとおり、今年度実施の教員採用試験合格者は横浜と湘南ひらつかの両キャンパスを合わせて37名(うち現役合格12名)となりました。現役合格者には、次年度に教育実習と採用試験を控える3年生に向けて経験を話してもらい、また助言をしてもらいました。

残念ながら合格を果たせなかった学生には再チャレンジしてほしいと思いますが、臨時・非常勤教員として教壇に立つ学生も少なくありません。合格者はもちろん、再チャレンジする学生にも、今後のご活躍を期待いたします。

○「教職実践演習」の展開

後学期開講科目の中で、2013年度より4年次後期必修科目として開講された本科目についてご紹介します。本科目は、教職課程における学修の集大成として、教育実習をふり返って自らの課題を明確化するとともに、教員としての「使命感・責任感」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」「教科指導力」を高めることが求められています。学科では卒業論文、教職課程では本科目が大学「最後」の授業である4年生も多く、演習形式で実施する本授業に問題意識をもって取り組んでいました。

こうして教職課程の1年が過ぎていきます。最後に、グループで取り組んだ学修成果発表に関する横浜キャンパスでの様子(「ミニゼミ」発表)を写真にてお伝えし、教職課程の報告といたします。

